

インタビュー

日研トータルソーシング(株)
営業本部業務統括担当部長

増井 宏二 氏

保全事業部開発担当次長

松岡 憲二 氏

発担当次長の松岡憲二氏(元日本電気)に、現在の取り組み、差別化ポイント、今後の展望などをお聞きした。

—チーム型派遣に定評があります。

増井 チームリーダー

を含めたチーム型で派遣し、そのチームリーダーが派遣先指揮命令者任務領域の指揮命令を代行するとともに、チーム内当社社員への技術指導から

日本の半導体を人財で支え続けている日研トータルソーシング(株)(東京都大田区西蒲田7-1-23-3、☎03-5711-6400)。「育てる派遣で人財育成」を創業以来貫いており、全国に認定職業訓練校(テクノセンター)10校(近く11校)を有するなど、その質の

半導体の設計開発・製造・設備保全をはじめ、ツフ数2万人強のうち約

日本の半導体を人財で支え続けている日研トータルソーシング(株)(東京都大田区西蒲田7-1-23-3、☎03-5711-6400)。「育てる派遣で人財育成」を創業以来貫いており、全国に認定職業訓練校(テクノセンター)10校(近く11校)を有するなど、その質の

半導体設備メンテナンス人財で貢献



増井宏二部長



松岡憲二次長

ぐ、派遣先企業様にもそのままの技術力の高さにご納得いただけている。また、チーム内社員へのスキル向上も適宜図っている。

—研修制度とは。

松岡 半導体設備メンテナンス研修を名古屋、北上、熊本で実施している。設備スタンダード研修21日間、半導体設備メンテナンス研修13日間に

て認定されたテクノセンターは当社が唯一である。現在、全国に10カ所が派遺先指揮命令者任務領域の指揮命令を代行するとともに、チーム内当社社員への技術指導から

勤怠管理まで、一括で請け負っている。派遣先企業は管理業務の大大幅な簡素化や技術指導工数削減などの利点が得られる。当社社員は半導体メーカー出身者が圧倒的に多

35%がエンジニア、かつ今後3年間で半導体製造装置関連エンジニア400人創出を見据える。

同社営業本部業務統括担当部長の増井宏二氏(元富士通)、保全事業部開

35%がエンジニア、かつ今後3年間で半導体製造装置関連エンジニア400人創出を見据える。

同社営業本部業務統括担当部長の増井宏二氏(元富士通)、保全事業部開

わたる約2ヶ月間のカリキュラムで構成し、座学もあるが、実機研修や模擬チャレンバー使用の繰り返し訓練を充実させていく。実機研修は、研修センター内に半導体製造装置を真空引きができる状態で導入し、現場同等の作業訓練を実行。さらにクリーンルームでの基本的な振舞いや、安全を意識した行動などが作業力量

実機研修充実の認定職業訓練校

(三重県)に面積を拡張した新たなテクノセンターを立ち上げる。前者は横浜からの移転、後者は名古屋テクノセンターと

した大手メーカー出身の専任講師が五十数人在籍している。また、講師陣の8割が職業訓練指導員の資格を取得済みだ。SEAJトレーナー資格取得者や設計を手がけられる力量を持つ講師陣が大

た、半導体はあらゆる用途に搭載が進んでおり、需要は拡大の一途を辿つて、長期的成長が期待できる。

—さらなる人財確保が必須になります。

増井 研修実績は年間1200人以上であり、資格取得実績も豊富であ

る。例え、品質管理検定(QC検定)取得者は約3500人、自主保全

チーム内社員へのスキル向上も適宜図っている。

—テクノセンターは認定職業訓練校でもあります。

増井 職業訓練校として認定されたテクノセンターは当社が唯一である。現在、全国に10カ所が派遣先指揮命令者任務領域の指揮命令を代行するとともに、チーム内当社社員への技術指導から

勤怠管理まで、一括で請け負っている。派遣先企

業は管理業務の大大幅な簡

素化や技術指導工数削減などの利点が得られる。

当社社員は半導体メーカー出身者が圧倒的に多

い。一方で、心構えなどヒトの質を磨くことも大切にしたい。かつて半導体のライバル企業同士が

争い合って強力タッグを組んだ当社が、日本の半導体に人財で貢献

いた。その後には

松岡 短期的ではなく長期的な観点から、半

導体製造装置関連のエンジニアを増やしていくた

い。装置の据え付けから

半導体を背負って立つ有

望な人財育成に尽力できることとは、当社講師陣の本望である。

—現在の市況感について。

増井 半導体業界の活

況を受けて、国内に生産

拠点を有する半導体メー

リ各社様や半導体製造

装置メーカー各社様から

の需要増を見据えて、

22年3月までに相模原(神奈川県)と四日市

には、ものづくりに精通

しそうです。

松岡 テクノセンター

には、ものづくりに精通

しています。

増井 半導体業界の活

況を受けて、国内に生産

拠点を有する半導体メー

リ各社様や半導体製造

装置メーカー各社様から

の需要はかなり強い。す

べてお話を多く、人財の

側面でも需給逼迫感が続

いています。特に当社主力

の半導体設備メンテナ

ンス関連ニーズは高い。ま

た、半導体はあらゆる用

途に搭載が進んでおり、

需要は拡大の一途を辿つ

て、長期的成長が期待で

きる。

増井 半導体メンテナ

ンスでは量、質ともに半

導体人財育成ナンバー1

を目指していく。そのため、研修制度では既存

コースに加え、上級コー

ス新設も検討していく。

また、データサイエンティストなど、高度なシミ

ュレーターを使いこなせる人材育成も見据えていく。

EAJトレーナー資格取得者や設計を手がけられる力量を持つ講師陣が大

半で、その指導の質の高さも好評である。そのため、お取引先企業様の社員教育を請け負う事例も年々増えている。日本の

トラブル対応、メンテナ